

2021年1月1日 初詣礼拝 (①9時 ②11時)

司 会
祈 禱
奏 楽

賛 美 新聖歌20番「主の真実はくしきかな」
(Never Worry) (われささぐ、I surrender all)

ヤベツの祈り・3つの愛

聖 書 マタイによる福音書6章26～34節 (P9)

音 楽 後藤晃士兄

メッセージ 『空の鳥を見るがよい!』 大川従道主任牧師

賛 美 「大波のように神の愛が」(献金)
頌 栄 「主の祈り」アーメン
祝 禱

「まず神の国と神の義とを求めなさい。
そうすれば、これらのものはみな添えて与えられる。」
(マタイ六の三十三) 聖書協会共同訳

【大和ニュース】

☆明けましておめでとうございます。主の愛にあふれ、聖霊充滿で邁進いたしましょう。

コツコツ聖書を読み、祈りの習慣を身につけましょう。

☆今年も、美しい筆字で年間聖句が作られました。一人一枚は無料ですが、ご自身でコピーして、家中に掲げましょう。(台紙つきは50円です。)

*2日の礼拝はございません。YouTube で何回も味わって下さい。

記念撮影も、3密をさけて、知恵をつくして感染予防に励みましょう。

*3日(日)は、今年初の「新年礼拝」です。7時、9時、11時。

日曜学校も開かれます。但し、至急対策として、公共交通機関をご利用の御来場は、(少しの間、)ご遠慮下さい。独奏と説教はポーマン宣教師です。


(第1礼拝は、故ハ・ヨンジョ先生のものですごい説教です。YouTube 等で、必ずお聴き下さい。) *ちょっとした工夫で、スマホをテレビにつなげれば、簡単に大画面で礼拝を視聴できます。主の宮から流れる霊的祝福は最高です。

石の枕

明けましておめでとうございます！主の不思議が注がれることを祈ります。
私は若い頃、プレジデント社の「現代の帝王学」と「リーダーの帝王学」を夢中で
読んだ。神学校で教えてもらえなかったこと、神学書では学べないことばかりでした。
それでも食い付いて学びました。

「帝王学」は中国五千年の治乱興亡の歴史が生み出した叡智で、平たく
いえば、上に立つ者が身につけておかねばならない学問だが、これは3つの柱が
中心。

- 第1、原理原則を教えてもらう師をもつこと—（これはイエス・キリスト様。
これ以上の存在は、この地上にはおられません。）
 - 第2、直言してくれる側近をもつこと。—（聖書に耳を傾けて聴くがよい。
また側近といえば、助け主として聖霊なる神様がおられます。）
 - 第3、よき幕賓（ばくひん）パーソナル・アドバイザー——（メンターは
麗しくもウルサイ、賢妻）
- * クリスマスは、まことに幸いな方々に囲まれている。今年も、これらの方々に
囲まれて邁進いたしましょう。



今年のみ言葉標語もすばらしい。65年間も味わい、体験して来た聖句です。
“空の鳥を見るがよい。まくことも、刈ることもせず、倉に取り入れることもしない。
それなのに、あなたがたの天の父は養っていて下さる！”

13才の秋から、何百回も口にし、体感してきた宝の言葉。まさに、私を生かして
来た命の言葉。私の父も母もそうだった。それを見て、私も信じて、み言葉に
生かされて来た。

山上の説教は、人類への貴重な宝物。多くの人がそうであるように、代々
伝え続ける生き方である。「恵みは千代に及ぶ」とあるが、あなたの代で、止めては
いけない。「安心と驚き」の家庭から産み出される。ちょっとした工夫や努力が、
あなたを生かし、次の世代にも伝えられることになる。さあ、コロナ禍の時代だから
こそ、小さなことに忠実でありたい。主の祝福を祈ります！！シャローム！